

1 学校教育目標

○よく考え進んで実行する子 ○なかよく助け合う子 ○心も体もきたえる子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ喜びを実感でき、確かな学力が身に付く学校 ・心の教育、体力の向上に取り組む学校 ・保護者や地域に信頼される学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、判断し、行動する児童 ・自分も他者も大切にす児童 ・心も身体も健やかで、家庭や地域に感謝できる児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・組織で協働して働き、授業力を磨く教師 ・教育への熱意をもち、児童に寄り添い、認め励ますことのできる教師 ・保護者・地域から信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○学校…全教職員が組織の一員としての自覚をもち、様々な課題に対して真剣に向き合い、協力しながら課題解決に当たっている。また、児童に基礎的・基本的な学力を身に付けさせるため、「足立スタンダード虎の巻」を基準とした授業を展開し、児童主体の授業づくりを意識してきた。また、足立区授業力向上中核校（外国語科・外国語活動）の指定を受け、6年間研究を積み重ねてきた。今年度も継続して研究を進め、その成果を区内の学校に発信していく。特色ある教育活動として、落語や俳句、百人一首、将棋等の伝統的文化活動も継続して取り組んでいる。

○児童…素直で明るい児童が多く、落ち着いて学校生活を送っている。自ら考え、行動する主体的な姿勢をさらに育てていきたい。

○教師…全教職員で安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。児童の学びを保障するため、熱心に授業改善を図っている。

○地域・保護者…PTA、開かれた学校づくり協議会、放課後子ども教室、学習支援ボランティアなどの地域や保護者の方々の教育活動への理解が深く大変協力的である。

【成果と課題】

○学力向上…授業改善、パワーアップタイム、放課後補習教室の取組により、区学力調査で通過率が向上した。4月当初の区学力調査結果の数値は2教科平均84.6%、6月の再実施では、4月の調査結果より+5.3%になった。さらに2月に実施した本年度（現学年）の区学力調査通過率では、国語83.2%、算数84.2%、2教科平均83.7%となった。今年度も引き続き基礎的・基本的な内容の定着が不十分な児童に対して、パワーアップタイムや補習教室を活用し、個に応じた指導を充実させていく。また、学習の定着が図られている児童には、AIドリルを活用して習熟度に応じた発展問題に取り組ませる。また、地域や地域人材を活用し、体験的活動を一層推進していく中で、児童が習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を高め、主体的・協働的に学ぶことのできる授業を推進していく。

○健康な心身の育成…あいさつの響く明るい学校づくりに励んできた。友達と学ぶことを楽しみにしている児童も多い。心の教育をさらに充実させるとともに、いじめの未然防止、早期対応・早期解決に当たる。不登校傾向、児童の生活指導上の問題行動等には、全校で共通理解を図りながら組織的に対応したことで改善が見られる児童も多い。

○家庭・地域との連携…地域の幼稚園・保育園・中学校と交流を進めてきた。また、地域や地域人材を活用させていただき学習を進めることができた。今後も発信に努め、引き続き地域の中の湊江小学校として活動し、学校愛・地域愛を育てていく。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	健康な心身の育成	○	○	○	○	○
3	過程・地域との連携	○	○	○	○	○

5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
学習者主体で学ぶ喜びを実感できる授業の実現		区学力調査の国語・算数通過率 85%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業力の 向上	全学年 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区授業力向上中核校（外国語活動・外国語科）の研究実践 ・足立スタンダード虎の巻に基づいた授業の推進 ・OJT 研修（一斉型ミニ研修・教員相互の授業参観） ・学年内で一部教科の授業交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内教員に公開の研究授業 7 回実施 ・授業観察、児童アンケートの実施 ・全主任教諭による一人一回以上のミニ研修実施 ・週案簿に記載、授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・全 7 回の公開授業実施 ・管理職による授業観察 ・管理職による確認 ・週案簿と授業観察による確認 	自己評価の際に記入		

2 継続	算数・漢字コンテスト	全学年	夏・冬休み前	漢字・算数ウィークを年2回設定し、パワーアップタイムや家庭学習で取り組む	定着度テストを年2回実施	・80%で合格 ・不合格者は再テスト実施。9割合格
3 継続	かけ算九九検定	3・4年	4月と9月の年2回	朝のパワーアップタイムや家庭学習で、全学年共通のかけ算プリントに取り組む	・100問テストを実施 ・100点で合格。不合格者は再テスト	・100点合格 ・90%以上で合格
4 継続	パワーアップタイム	全学年 国語 算数	火:計算 水:読書 木:漢字 金:作文	朝の会開始前15分で実施。曜日ごとに決められた内容に取り組む	・週案簿に学習内容を記載 ・管理職による確認	・1年のみ6月から実施 ・2年生以上は4月から100%実施
5 継続	けやきタイム	全学年 国語 算数	月1時間	学年で各担任が国語・算数を20分ずつ担当し、つまずき解消に向けた指導を実施	・区学力調査年度末の目標通過率85%以上	・年間10回以上実施
6 継続	補習教室	全学年 国語 算数	月2回以上の実施	・担任+専科+COM教員 ・つまずきのある児童の補習を行う ・担任による指導後、演習、確認テストを実施	・1回30分×年間30回以上	・各学年において年間20回以上の実施
7 継続	読書活動の充実	全学年	通年	・足立読書通帳を活用 年間平均読書冊数低学年80冊、中学年50冊、高学年30冊 ・全教員、委員会児童による読み聞かせ ・単元毎に関連する図書を教室に配置し、調べ学習につながる環境を整備	・4ヶ月に一度冊数確認 ・月1回以上実施 ・学校図書館支援と担当で毎月確認 ・9類以外の本の充実	・年間平均読書冊数目標達成率100% ・児童の意識調査 ・図書担当教員が毎月確認

自己評価の際に記入

7 新規	ICT の活用	全学年 全教科	全学年 全教科	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の AI ドリル WAU 率を 80%以上 ・週 3 回以上児童が自分で調べる場面 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施状況を確認 ・週案に記載させ確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラス毎月の AI ドリル WAU 率を 80%以上 ・管理職による校内巡視、週案簿による確認 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
---------	---------	------------	------------	--	--	--	--

重点的な取組事項－2		心の教育の充実					
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度
児童が安心して過ごせる居心地のよい学校の実現		児童アンケートによる数値の向上 QU 結果の数値向上		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			
B 目標実現に向けた取組み							
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果		コメント・課題	達成度
あいさつ、丁寧な言葉遣いや返事の励行	・児童アンケート肯定的回答 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしい言葉」月間 ・生活指導夕会での情報共有と改善策の周知（週 1 回） 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			
不登校の未然防止	・不登校、不登校傾向のある児童の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふっちの部屋」の継続 ・校内委員会での情報共有と改善策の確認（月 1 回以上） ・特別支援教育に関する専門性向上のための研修実施 ・関係諸機関と連携した児童への支援の徹底 					
道徳の時間の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講全学級授業公開 ・道徳授業研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘し、「考え・議論する道徳」について ・指導教諭の授業参観（年 2 回以上） ・指導教諭による「研修」の実施（年 2 回） 					

重点的な取組事項－3		家庭・地域との連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
「家庭・地域と共に育つ学校」の実現		学校評価アンケート「連携について」の肯定的評価 80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
地域や地域人材を活用させていただく授業を実施	生活科・総合的な学習の時間・社会科等で各学年2回以上の探究的な学習の実施	地域や地域人材、外部機関との連携学習を実施	自己評価の際に記入		
保護者による年間2回の学校評価の実施	2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上	年2回アンケートを実施。変容の分析と課題への迅速な対応・改善			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。
 経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。